

「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略

(仮称)「の策定に取り組んでいます」

ジェンダーギャップⅡ性別の違いで生じる、さまざまな格差

本市では、2019年1月、「豊岡市ワークイノベーション戦略(民間事業所向け)」と「豊岡市役所キャリアデザイン・アクションプラン(市役所向け)」を策定し、職場を切り口としたジェンダーギャップの解消に取り組んでいます。

本年度は、家庭、地域等を含めたまち全体のジェンダーギャップの解消に向けた戦略を策定します。策定に当たっては、若い世代の意見や経営者等の先進事例のヒアリング結果などを反映させながら、市民主体で地域に根差した未来志向の戦略案を検討します。シナリオプランニング(複数の未来を想定し、対応を考える)を活用したワークショップや、演劇的手法を用いたワークなど従来の戦略策定手法とは異なる新たな手法で実施します。

第1回豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略会議を開催



▲ワークショップ



▲高校生ワークショップの動画視聴

主な意見

〈ジェンダーギャップが解消されたまちの姿〉

女性リーダーが増える。若者が増え、人口・出生率が増加する。人材不足が解消される。企業が増える。子どもが地域全体で育てられ、安心して働きしつかりと稼ぐことができる。

〈ジェンダーギャップが解消されなかったまちの姿〉

若い女性が戻ってこない。男性の未婚率が上昇し少子化が進む。人口減によりいくつかの村が消滅。企業、豊岡市経済が衰退。個人の可能性が閉ざされる。子ども達への影響がネガティブ。〈ジェンダーギャップが解消された未来を実現するためにすべきこと〉

固定観念に気づいて、意識を変える。生活の役割「家事・育児」の分担。感謝を言葉にする。女性の区長をつくる。若い議員を増やす。教育にもっとジェンダーを取り上げる。働き方の環境を整える。自治会でジェンダーギャップ勉強会を開催す

る。市長、市議会議員、企業市民などで意見交換できる会議体を新設するなど。

今後の予定

- 第2回戦略会議 11月19日(木)
- 第3回戦略会議 12月16日(水)
- いずれも市役所庁議室、午後1時30分～4時30分
- 《問合せ》ワークイノベーション推進室 ☎21-9004

参考図書

- 小学館新書 治部れんげ著 「男女格差後進国」の衝撃 無意識のジェンダー・バイアスを克服する 豊岡市のジェンダーギャップ解消の取り組みが紹介されています。
- 国会議員からも注目される兵庫県豊岡市
- 市長の危機感に火をつけた「若者回復率」
- ワークイノベーションの推進



*掲載している情報は編集時点(10月15日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。

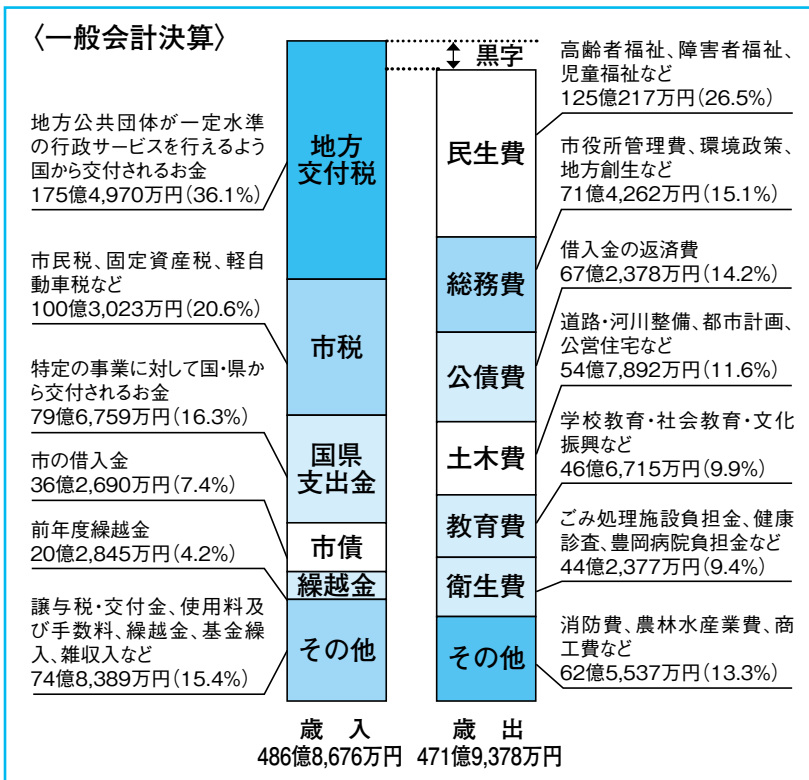
2019年度決算のあらまし

一般会計の実質収支は12億円

2019年度決算は、一般会計と特別会計、公営企業会計を合わせた総額で、歳入(収入)が774億円、歳出(支出)が744億円でした。

また、市の全ての会計を合わせた市債(借入金)残高は、1,084億円、対前年度比46億円の減になり、市民1人当たり134万8千円、対前年度比4万円の減となりました。

《問合せ》財政課 ☎21-9014



一般会計の決算
一般会計の決算は、歳入が487億円、歳出が472億円でした。歳入には、2020年度への繰越し事業の財源3億円が含まれているため、これを差し引き、実質収支は12億円となりました。

また、市民1人当たりの歳入額は58万7千円、納税額は12万5千円でした。市債残高は、519億円、支出金が80億円、市債が36億円と続きます。

〈会計別決算額一覧〉

区分	歳入	歳出	歳入歳出差引
一般会計	486億8,676万円	471億9,378万円	14億9,298万円
特別会計	206億4,522万円	200億4,130万円	6億392万円
国民健康保険事業(事業勘定)	89億2,059万円	88億2,100万円	9,959万円
国民健康保険事業(直診勘定)	8,887万円	8,460万円	427万円
後期高齢者医療事業	12億4,269万円	12億1,598万円	2,671万円
介護保険事業	99億7,174万円	95億3,292万円	4億3,882万円
診療所事業	2億7,731万円	2億6,061万円	1,670万円
霊苑事業	2,303万円	1,284万円	1,019万円
管理会財産区	224万円	9万円	215万円
太陽光発電事業	1億1,875万円	1億1,326万円	549万円
公営企業会計	81億1,030万円	71億4,187万円	9億6,843万円
水道事業	22億7,545万円	20億1,382万円	2億6,163万円
下水道事業	56億8,832万円	49億8,065万円	7億767万円
農業共済事業	1億4,653万円	1億4,740万円	△87万円
合計	774億4,228万円	743億7,695万円	30億6,533万円

特別会計・公営企業会計の決算
特別会計の決算は8会計の総額で、歳入が2006億円、歳出が200億円、実質収支は6億円となりました。前

年度から歳入が3億円の増、歳出が5億円の増となつてい、これは特別会計のうち、介護保険事業で、後期高齢者の増加に伴い要介護認定者が増加したこと等が影響しています。

※掲載している情報は編集時点(10月15日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。